

## 使用するのに便利な各種設定を行います。

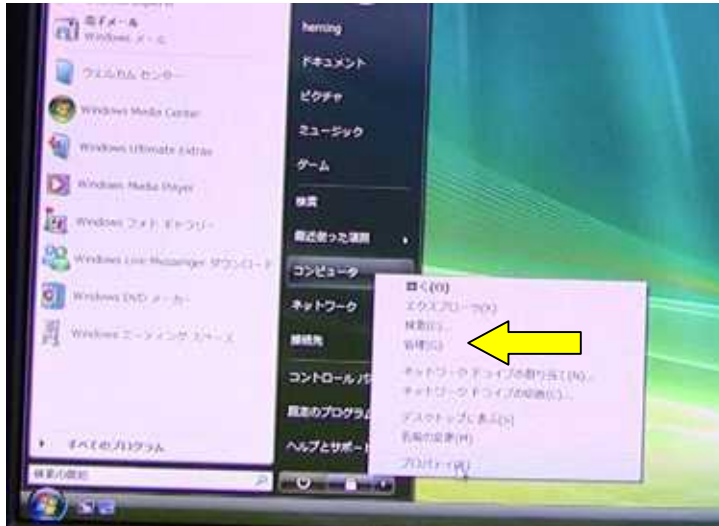
ドライブ(HDD、DVDなど)を追加すると、ドライブ文字は自動的に英文字の上から開いている順番(C、D、F・・・)に付けられていきます。

これでは操作に不便なので、磁気ドライブはDとかEとか英文字の前半に、カードリーダーや光学ドライブは英文字の後半(MやN以降の英文字)に変えておきます。

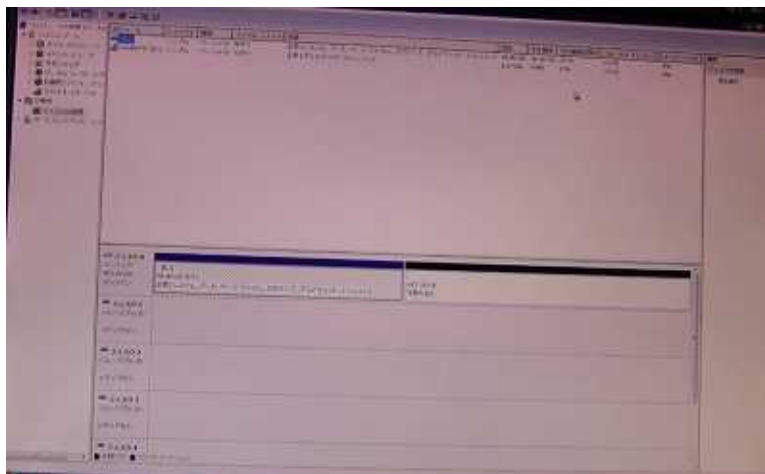
ドライブ文字の変更とHDD Dドライブ、Eドライブの追加。

### 1. デバイスマネージャを開く

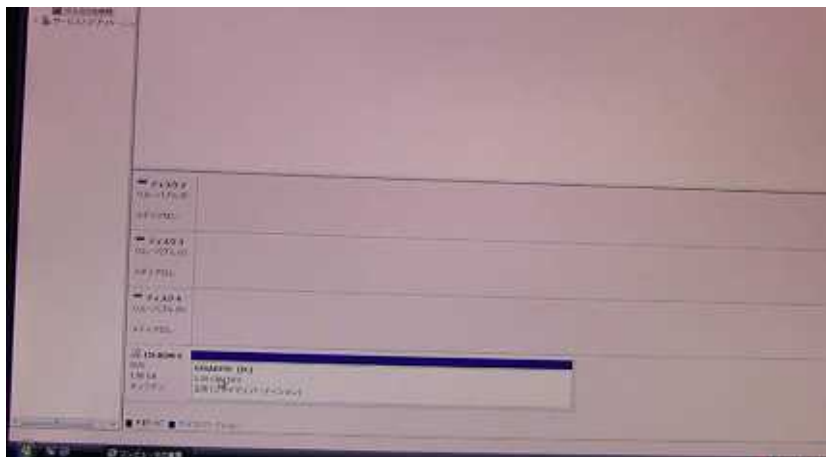
コンピュータを右クリックして管理をクリックする。続行をクリックする。



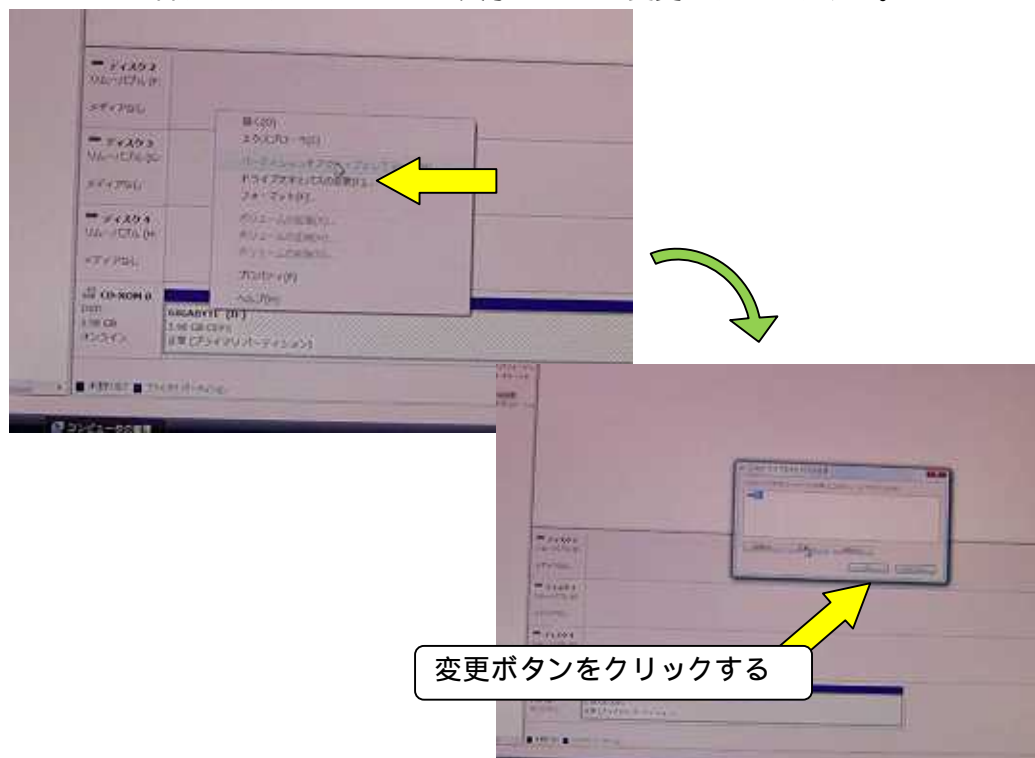
### 2. ディスクの管理をクリックする。



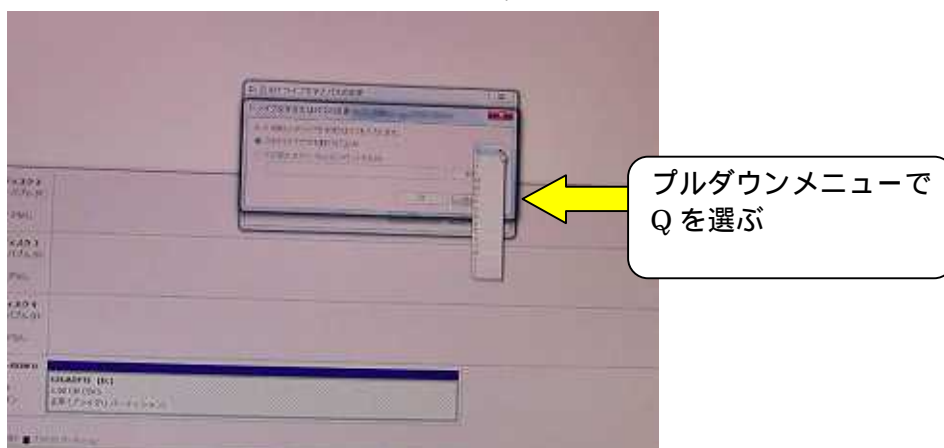
### 3. DVDドライブの文字を変更します。



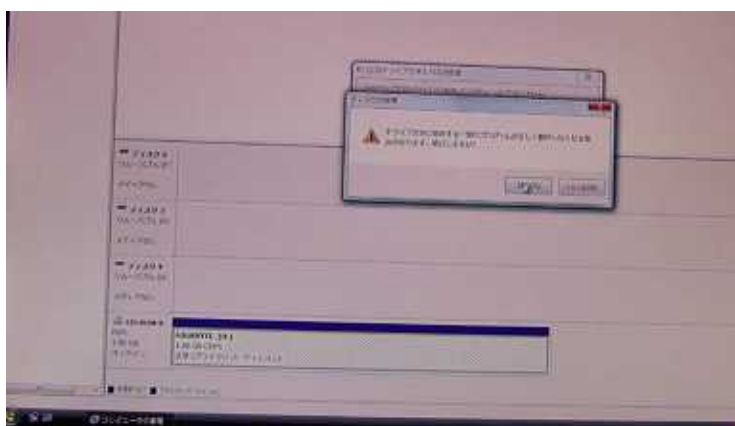
4. CD-ROM 0 を右クリックしてドライブ文字とパスの変更をクリックする。



5. ドライブ文字が「D」になっているのを「Q」にする。



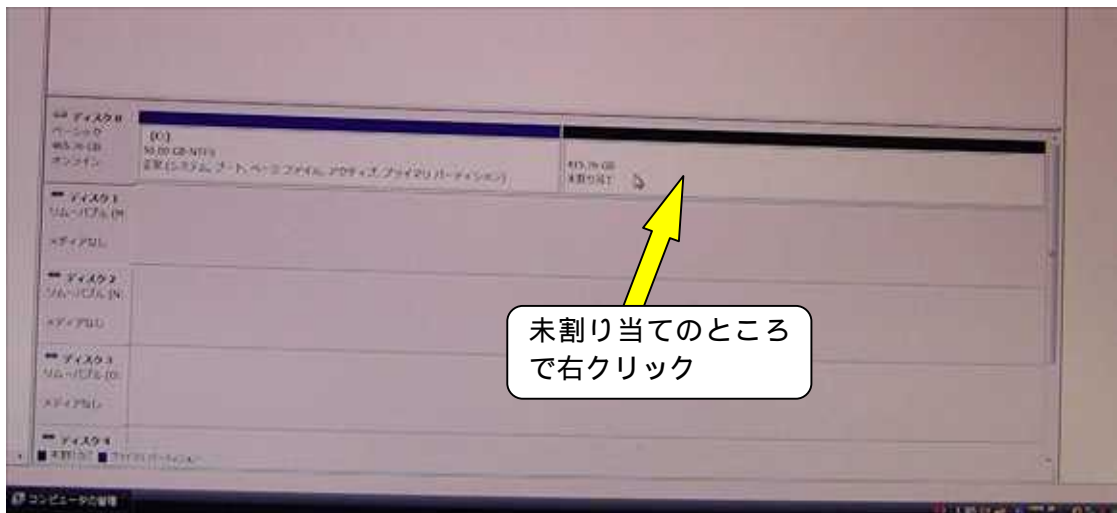
6. ドライブ文字に依存する一部のプログラムが正しく動作しなくなりますが ..... と表示されるが「はい」をクリックする。



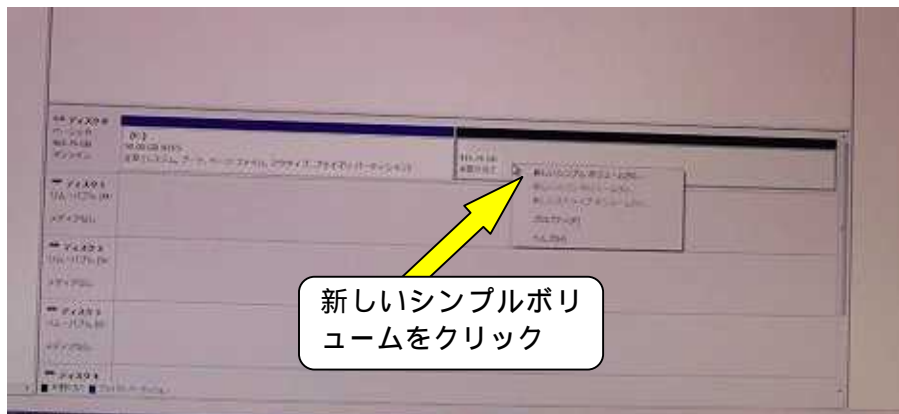
7. カードリーダーが 4 つあるが同様にドライブ文字を M、N、O、P に設定する。

これで、HDD を英文字の前半部 (D、E・・・) への割り当てが可能となりましたので、次に磁気ドライブ文字の割り当てを変更します。

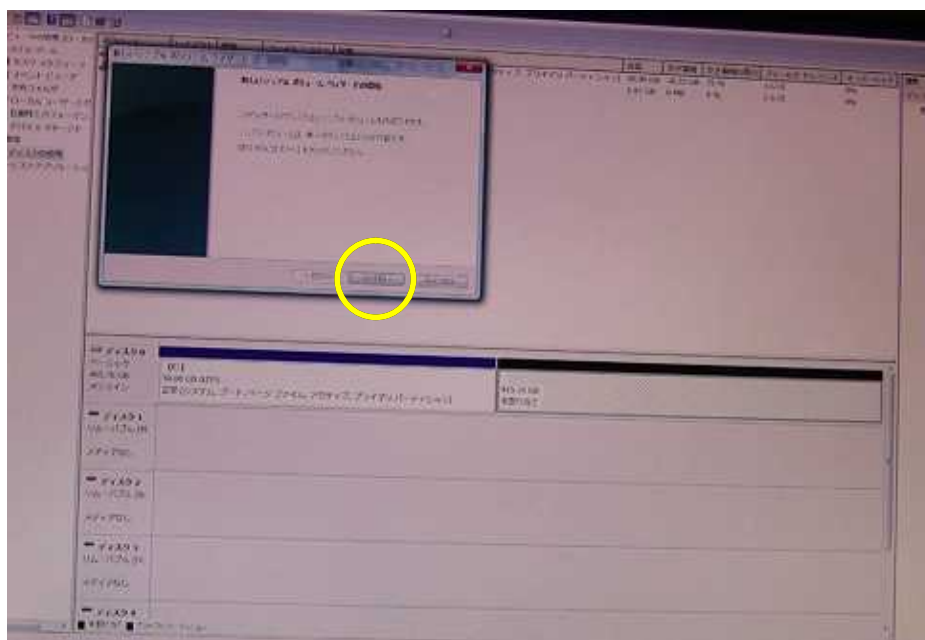
8. HDD の D ドライブと E ドライブを割り当てる。容量は等分に分ける。



9. 新しいシンプルボリュームをクリックする。



10. 「新しいシンプルボリュームのウィザード」が始まるので「次へ」をクリック。



11. Dドライブの容量を設定する。今回は100GB（102400）に設定。

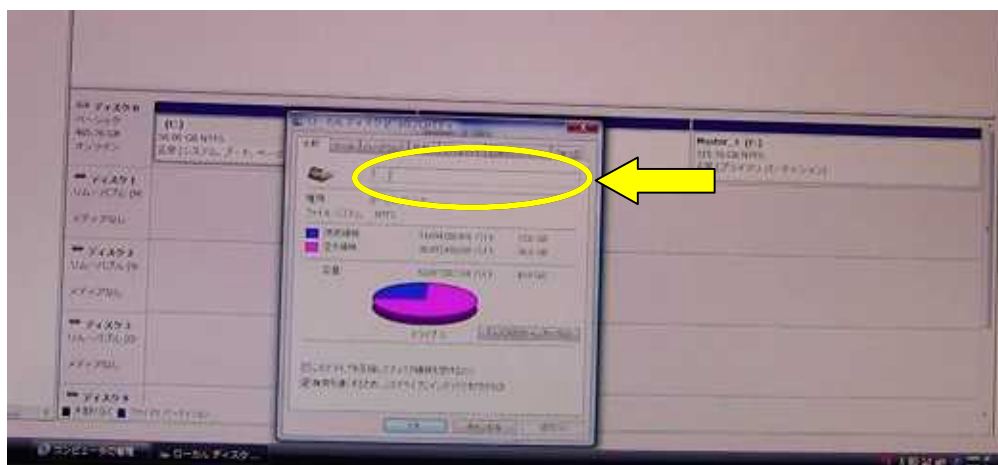
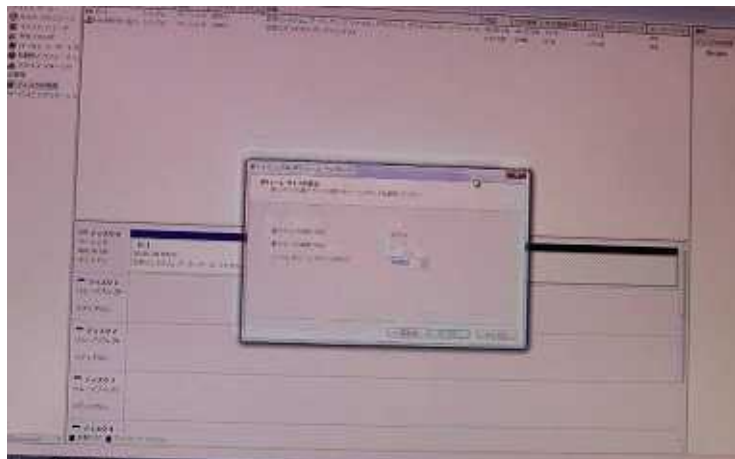
「クイックフォーマットをする」  
にチェックを入れる。

12. 完了したら同様にEドライブを]設定する。容量は残り全部を指定する。

13. Cドライブの名前を付ける。

CドライブはOSやプログラムなどが格納されているシステムドライブなので、特定の名称を付けておく  
と便利です。（Acronis True Image  
でのバックアップや復旧などで役立  
ちます）

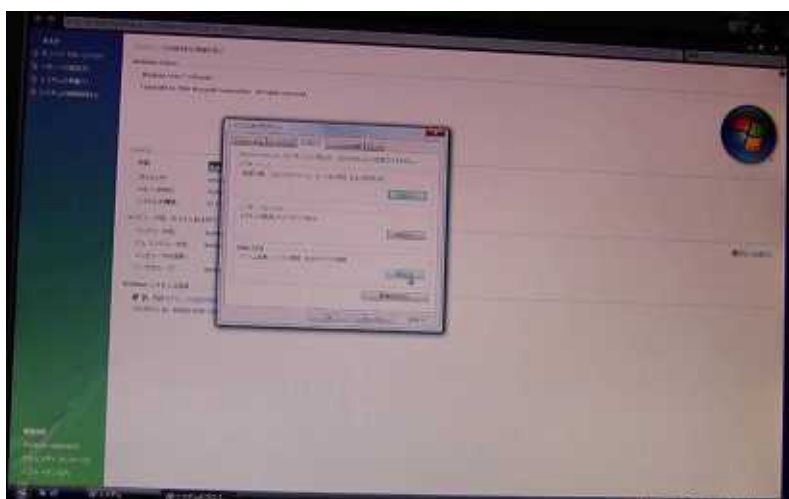
Cドライブの部分を右クリックしてプロパティを出す。全般タブで“システム”とか  
“プログラム”などの名前を入力する。



完了すれば「コンピュータの管理」を閉じる。

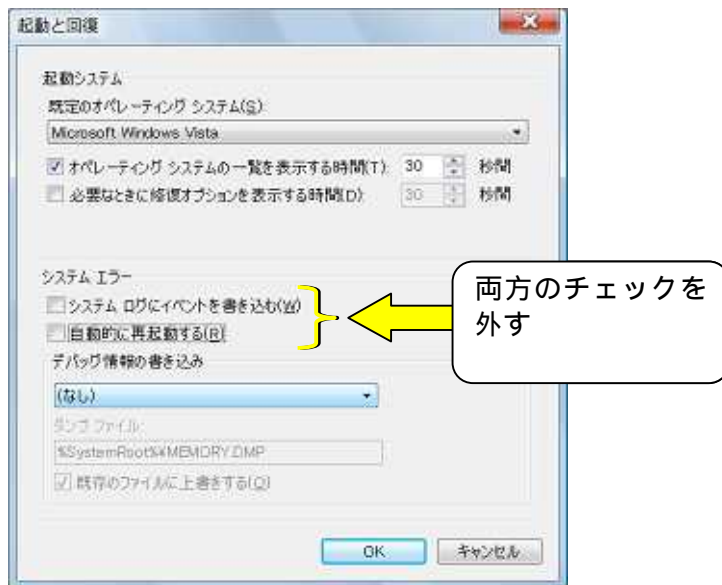
14. 仮想メモリの設定を変更する。

システムの詳細設定をクリックする。「続行」をクリックする。  
詳細設定タブを開く。

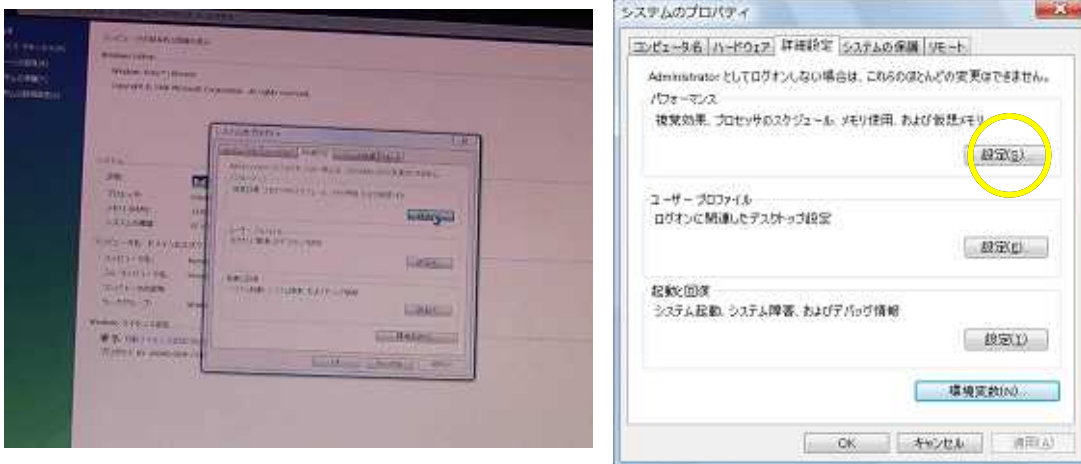


15. 起動と回復の設定ボタンをクリックする。

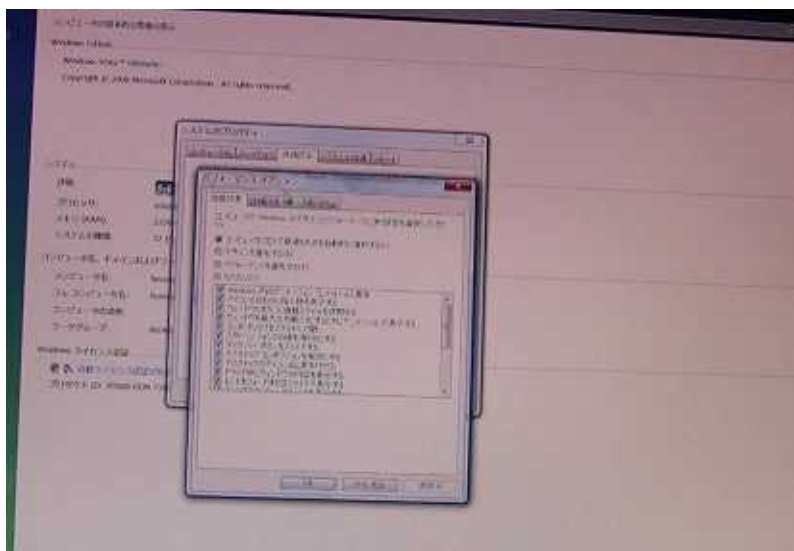
「自動的に再起動する」と「システム ログにイベントを書き込む」のチェックを外す。



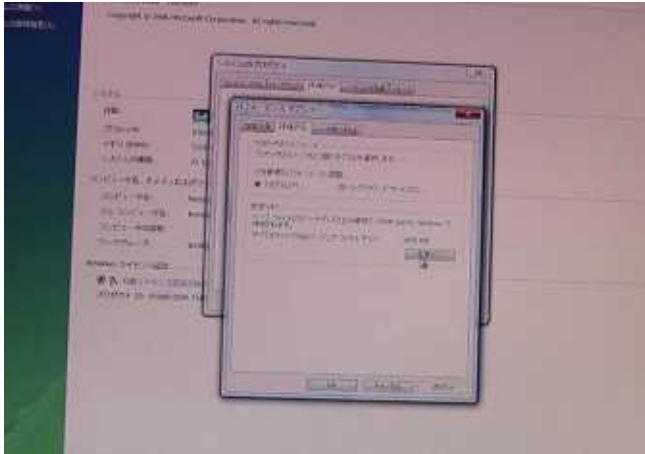
16. パフォーマンスの設定をクリックする。



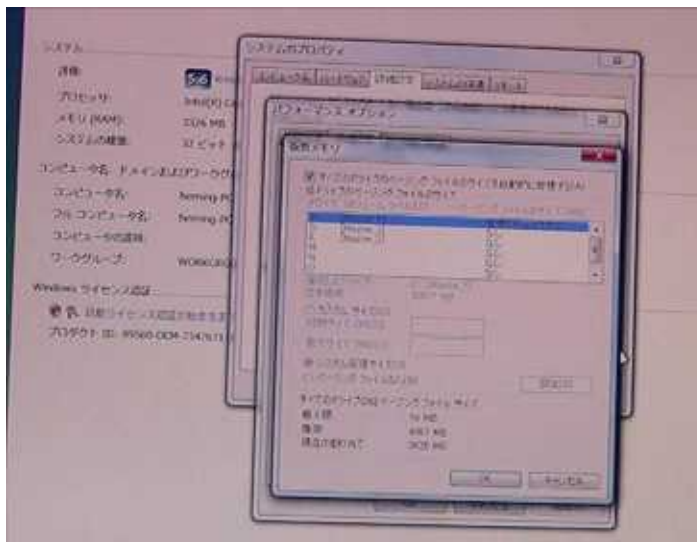
17. パフォーマンスオプションの詳細設定タブをクリックする。



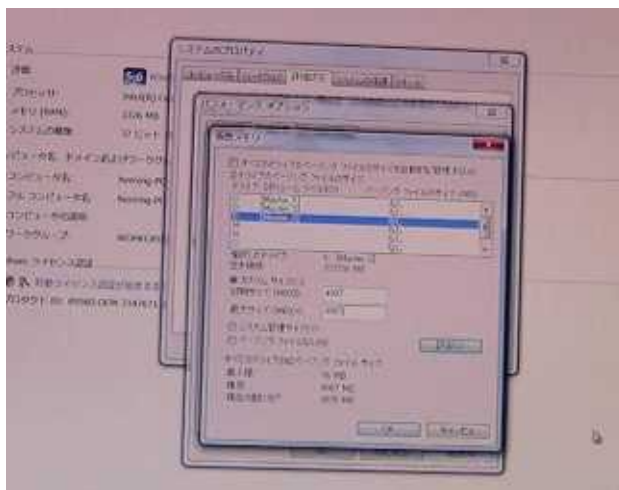
18. 仮想メモリの変更ボタンをクリックする。



19. 「すべてのドライブのページングファイルのサイズを自動的に管理する」のチェックを外す。  
Cドライブを選択して「ページングドライブ無し」にチェックを入れる。

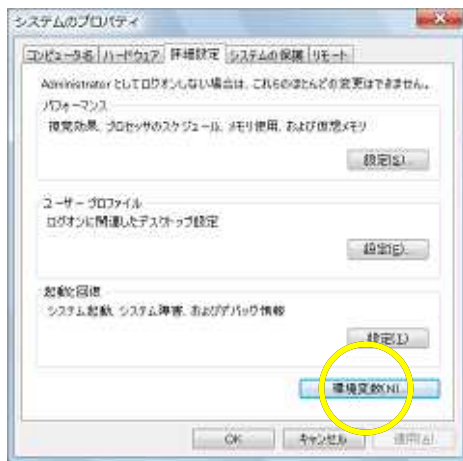


20. Eドライブを選択してカスタムサイズにチェックを入れる。  
推奨の 4987MB を初期サイズ、最大サイズにそれぞれ入力する。  
設定をクリックして OK をクリックする。



21. システムの環境変数を変更する。

システムのプロパティオプションで環境変数をクリックする。



22. 環境変数「TMP」と「TEMP」の場所を C ドライブ以外に変更しておく。

任意の場所で良いがここでは E:\temp にした。

それぞれ選択して (反転表示させて) 「編集」をクリックして変更する。

